

會社が従業員をいさかかると益々しゆりうと云ふならみゆめらた、會長は會社の御用
 人だ、親類は又その御用人を遣出さるなり、此れをなすに柳んをてゐる、一應は後述の通りだ
 とほついで中が、そのうち二人は規約の自分を通つ本當の代表者を選入ない、統制をなした
 社が、マニ政をいつて利用されたのである、この二人は共済會だのり何れも本でないんだ、
 結局は、各人は道に斯う、本會社が、マニ政策を押し出し、あくまで、本會社従業員が、
 此の共済會の獲得のため、共済會自主化斗争、本會社参加して天下の共済會を自主
 化さす。

本會社が強削力ニキント絶對及對

* 天下の共済會を自主化さす

本自主的共済會を獲得さす

* 共済會自主化同盟擴大強削力

赤二
 同陳士股
 旁働組

會社が強削力ニキント絶對及對
 * 天下の共済會を自主化さす
 本自主的共済會を獲得さす
 * 共済會自主化同盟擴大強削力